

粗飼料支援の考え方

事業の必要性

- 酪農家での購入飼料価格高騰に対しては、R4年度9月及びR5年度6月補正予算において県が1頭当たり1.9万円の支援を行った。
- これまでの取組において、酪農家は食べこぼしの低減などの粗飼料コスト低減に向けた取組を行って来ているが、その後も価格は高止まりしており、R6年度もその傾向が続く見込み。
- 何ら支援を講じなければ、農家負担額が急増する見込みで、飼料価格の高騰は酪農経営に及ぼす影響が大きい。
- 自給飼料への切り替えが容易ではない中で、これからも酪農経営を続けてもらうようにするためには、引き続き購入粗飼料価格高騰に対する支援を行う必要がある。

予算積算

補助金：県内乳牛頭数2,000頭
×19,000円/頭
＝合計38,000千円

支援の考え方

- 平年（粗飼料価格が高騰する前）と比較して上昇する負担額の1/2相当分の支援を行う。

